



剣を持ち勇壮な踊りを披露する兄川先祓い(兄川稲荷神社)

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。

☎・内線1202まで。

はら 力強く勇壮に舞い祓う

田山統一祭典

7月15日、田山地区の田山、折壁・日泥、兄川の3集落の神社周辺で例大祭が行われ、市の指定無形民俗文化財「先祓い」の勇壮な舞いが披露されました。

例大祭では「みこしが通る道を舞によって先に祓い清める」という由来を持つ「先祓い」を、太鼓や笛の音に合わせて子どもらが元気に踊り、沿道で見守る地域の人々からの声援を受けていました。田山小4年の山本雪乃さんは「長い距離を踊って疲れたけど、みんなと踊るのは楽しい」と笑顔を浮かべました。



はかまの衣装を着て舞う折壁日泥先祓い(折壁八幡神社)



横断幕を掲げ登頂を喜ぶ市登山隊の皆さん

県最高峰の頂で万歳三唱

岩手山山開き

岩手山(2,038m)の山開き式は7月1日、焼走り登山口付近で行われ、山岳関係者や一般登山客ら約200人が神事に参加し、今年一年の山の安全を祈願しました。

焼走り登山口を出発した市登山隊は、汗を流しながら山頂までの片道約6.7kmを登りました。途中、コマクサやシラネアオイなどの高山植物に癒されながら、県最高峰の頂に到着。山頂セレモニーでは、ピッケル交換や万歳三唱をしたほか、地元酒蔵「鷲の尾」の酒だるで鏡開きを行い、登頂を祝いました。



小雨が降る中、白坂観音大祭で元気に野口鹿踊りを披露する子どもたち(7月17日、聖福寺境内)



平舘高の田村岳杜さんと伊藤誠人さんが社会を明るくする運動啓発活動参加(7月18日、ベルフ八幡平)



七夕コンサートで浴衣姿の園児たちが大人用の琴を使い「さくら」を演奏(7月7日、ひなぎく幼稚園)



短期間でのプログラミング技術習得に真剣に臨む参加者

IT技術で起業家を育成

第12期スパルタキャンプ

起業家を志す人たちにプログラミング技術を教える、市起業志民プロジェクトの第12期スパルタキャンプは7月7日、起業家支援センターで開講し、全8日間の日程で行われました。

遠くは沖縄から集まった参加者14人は、互いに切磋琢磨しながら技術を高め、最終日にはオリジナルのスマートフォンアプリを作り上げました。スパルタキャンプは、既に3人の起業家を輩出。年3回ほどの開催計画で、次回は10月ごろの開催予定です。

つなぐ力を育みトライ

第12回市子どもフェスティバル

第12回市子どもフェスティバル(市教育振興運動推進協議会主催)は7月7日、アリーナまつおで開かれ、思いやりの心を養うことを目的に、学年や地区の範囲を超えて競技に挑戦しました。

10実践班から72人の児童と中学生ボランティア23人が参加。タグラグビーやムカデレースなどの競技を通じて交流を深めました。平笠小4年の日景蓮君は「タグラグビーでは、初めてのメンバーとも楽しく協力できてよかったです」と声を弾ませました。



実践区を混ぜて、参加者全員でタグラグビーに挑戦

地域の団結で文化を継承

市指定無形民俗文化財「横間虫追い祭り」

横間虫追い祭りは7月15日、横間地区で行われ、住民や岩手大の外国人留学生9人の農村サポーターを含む約70人が参加し、五穀豊穡を願いました。

天明の大飢饉を機に始まったとされる同祭りは、悪い虫を払う男女の鬼のわら人形を掲げ「五穀豊穡、稲虫はらえ、豊作祭りや」と唱え、地区内を行列します。

同祭り保存会の畠山正徳会長は「この日ばかりは離れて暮らす子や孫が帰ってくる。地域が一致団結できるこの祭りを今後も長く続けたい」と力を込めました。



集落中に掛け声を響かせながら歩く虫追い祭りの行列

思いやりの心大きく育て

人権の花運動(東慈寺保育園)

人権の花運動は7月19日、東慈寺保育園(小瀬真子園長、園児80人)で行われ、園児の植えた花で園の玄関は華やかに彩られました。

この運動は、子どもたちが協力して花を育てることで、生命の尊さを実感し、豊かな心を育むことを目的に実施。人権擁護委員による指人形劇で、花の育て方や思いやりの心について、園児みんなで学んだ後、園を代表して年中のほし組の園児12人がプランターに花を植え、水やりをしました。



「大きな〜れ」と優しく語り掛けながら植えました

新たなキャンプ場が始動

トラウトガーデンがコモンガーデンとして再開

(有)ビッグアップル(仙台市)は7月20日、八幡平トラウトガーデンの緑地帯を借り受け、キャンプ・イベントエリア「コモンガーデン」の営業を開始しました。

エリア内には、手ぶらでも楽しめる豪華な宿泊用テントなどを常設。10月28日(日)までの営業期間中は、乗馬体験などさまざまなイベントも企画する予定です。

運営に携わる古屋亮輔地域おこし協力隊員は「市内事業者との連携で、地元の食材や体験型サービスを提供し、市の魅力をここから広げたい」と意気込みます。



のんびりとバーベキューを楽しむ来場者(7月21日)

暑さ吹き飛ばす熱い公演

市芸能発表会

市芸能発表会(市芸術文化協会主催)は7月1日、西根地区市民センターで開かれ、地域の芸能を見ようと訪れた約200人の観客に13団体の会員らが舞踊や民謡などを披露しました。

昭和の時代模様をコミカルに語り、会場を盛り上げた清水田ノブさんは「暑い中、わざわざ来てくれたお客さんに笑ってもらえてよかった」と汗を拭きました。当日は30℃を超える猛暑。来場者は演者と一緒に歌ったり笑ったりと暑さを忘れて楽しみました。



息の合った演奏を披露する八幡平三味線倶楽部の皆さん

すなっぶギャラリー



メビウス杯優勝馬ジョーグランツの関係者と共に名護市との友好都市30周年を祝う(7月5日、川崎競馬場)



7月5日で100歳を迎えられました日戸千代さん=町組=いつまでもお元気で(7月5日、むらさき苑)



前森山の急勾配の斜面を駆け上がり競う「APPI VERTICAL RACE」が初開催(7月22日、安比高原)



ルワンダ解放記念日&独立記念日レセプションに参加し、親睦を深めました(7月4日、東京都内)



記念すべき50回目を迎えた岩手県緑の少年団大会が開催されました(7月26日、県民の森)